

HOPE ニュース

平成27年8月号

日本システム(株)
医療福祉ソリューション本部

発行責任者：鳴松

TEL 099-254-7200

地球と言う生き物にとっては、鼻詰り程度の事かもしれませんが、桜島の噴火警戒レベルが4に引き上げられてから二週間近く経過しました。現在は火山性地震と小規模噴火が発生しており、大規模噴火の予断を許さない状況が続いています。このまま何事も…と言う訳にはいかないと思います。

何も起きないまま時間が経過すると気が緩みがちですが、噴火災害への備えを怠りなくしておく必要があると思います。

さて、今月号は以下の3つのテーマについてご紹介とお知らせを掲載します。

- 1) 超音波検査の逡減について
- 2) 日付入力の限界値について
- 3) よくある質問

● 超音波検査の逡減について ●

同一月に同一検査を行った場合や、同一臓器に対して行った場合には、2回目以降逡減対象となります。逡減をさせたいグループごとに、同一の逡減フラグの設定をお願いいたします。点数マスタの逡減フラグには、『01』と『I0～I9』の11区分があります。必要な際に区分を指定し、使用してください。

点数マスタ登録#1

コード 06902 参照コード 平成27年 6月改定マスタ
管理番号 6501020 登録変更日 H27.08.17 電算コード 160072610

診区 67 検その他 データ区分 1 処置タイプ 老人用コード 0

正式名 超音波(心臓超音波検査) (Mモード法)
表示名 超音波(心臓) (Mモード法)
単位
単価 500 点

略称 6902 読み 超音波
電算種別 1 電算単位 000 新設フラグ 0
自費 0 点金区分 0

丸め区分 00 判断料 00 逡減 I0 採血料 0 同一検体 0
時間外 00 乳幼児 07 階段室 00
識別 0 部位 0 老健区分 0 外来管理 0

迅速検査 0

レセプト 集計先 0 回数 0 明細 0 順序 数量 0 点数 0 日付 0 実日数 0
リスト 021503 薬効 注釈 算定歴が「-」 000 包括種別 000 警告番号 0-0 請求明細 0

包括設定 (Ctrl + →) 前ページ (Ctrl + ↑) 次ページ (Ctrl + ↓)
チェック情報 (PageDown) 第二略称 (F2) 削除 (F3) 空コード (F4) 名称固定 (F7) 変換マスタ (F8)

● 日付入力の限界値について ●

高齢受給者証等の終了日が『平成31年以降』の患者様の場合、算定条件の登録の際に、『適用範囲に誤りがあります』と表示され、登録が出来ない事があります。該当の事象が発生した場合、弊社までご連絡ください。

よくある質問

1) 患者を二重で登録してしまった場合の対処法

同一の患者様を二重で登録された場合、異なる患者IDの会計データをまとめることはできません。会計内容は再入力していただき、患者は削除していただくか、名前の前に使用禁止と入力して対処をしていただく形になります。

2) 前期高齢者の負担割合について

前期高齢者の負担割合は、70歳の誕生月の翌月から変更になります。

※後期高齢者は75歳の誕生日当日から負担割合が変更になります。

3) 後期高齢者の3割負担の方の登録について

患者登録の算定条件の欄に下記のようにそれぞれ値を入力します。開始日は保険適用開始月の1日に設定をお願い致します。

算定条件			
算定条件	設定値	開始日	終了日
1 所得	4 一定以上	27.09.01	28.08.31

よもやま話

「人は笑うと幸せのスイッチが入るんだ。」

主人公が言ったこの一言は、私の毎日に笑顔が増えていくきっかけになりました。心が元気になる私の大好きな本を少しだけ紹介したいと思います。

【天国マイルージ】 樋口 卓治

主人公は、バラエティー番組などを手掛ける放送作家ですが、45歳の若さで妻と小学6年生の息子を残し、亡くなってしまふ。

主人公が目覚めると、死後の人生を決める場所、「天国ステーション」にいて、「生前に貯めた天国マイルージの数で天国に行けるか決まる。」と、説明を受ける。(天国マイルージとは、生前徳を積む度に加算され貯まるマイルであり、人助け1回で百マイルが目安とのこと。天国行きに必要なのは、なんと3万マイル!!)

たいして良い事をした覚えはなかったが、笑う(=0.1マイル)ことで、3万マイル以上獲得していた為、天国行きが決まる。しかし、主人公は1つだけ未練を思い出す。息子に「笑うコツ」を教えていなかったのだ。主人公は自分の天国マイルージを全て使って、6日間だけこの世に帰る決断をする。息子を笑わせ、コツを伝える為に、、素性を明かさず姿を変え、息子と同じクラスの児童としてこの世に戻り、主人公は笑いあり涙ありの最高の6日間を旅して行く、、

この物語を読んで、私は笑うことの大切さ、笑わせることの幸せを知りました。

主人公は、「目の前に笑顔があるから自分も笑えるんです。」「人を笑わせることは、気持ちを伝染させることなんです。心を込めて話せば伝わるように、真心を込めれば絶対に笑わせることができます。」とっていました。それは、相手を思いやることから生まれる、幸せの連鎖なんだろうなと思いました。私でも、誰かのマイルージを貯めるお手伝いができるのだ!と思うと、毎日が楽しくなり笑顔が増えました。

もうすぐやってくる読書の秋を、「笑顔の秋」にされてみたい方は、ぜひこの本を手にとってみてはいかがでしょうか?